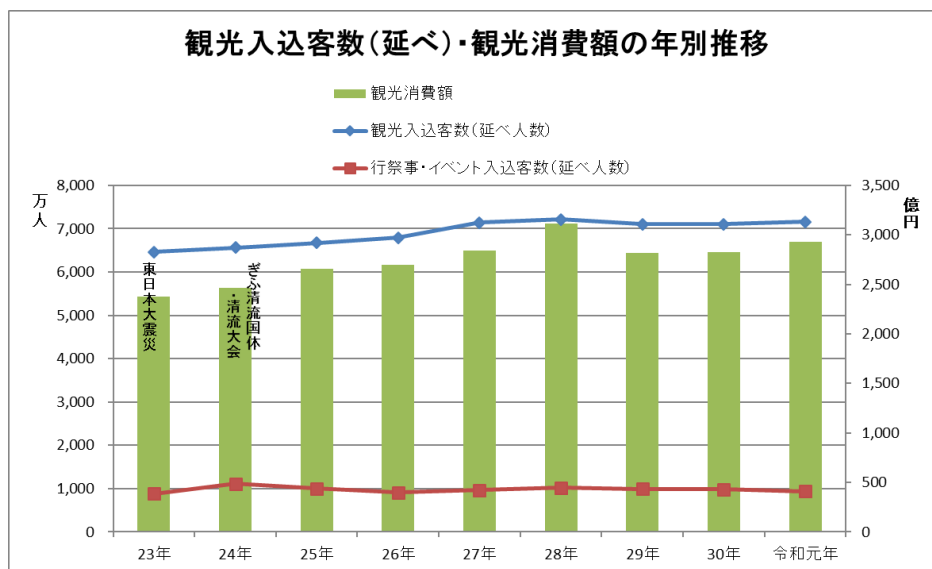


令和2年12月18日（金） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
観光企画課	政策企画係	中野 嘉章 西山 伸也	内線 3059 直通 058-272-8079 FAX 058-278-2674

令和元年岐阜県観光入込客統計調査について

令和元年岐阜県観光入込客統計調査の結果がまとまりましたので、お知らせします。

1 観光入込客数（延べ）・観光消費額



区 分		R 1 [2019]年 (対前年比)	参考：H 3 0 [2018]年
観光入込客数 (延べ人数)		7,162万8千人 (+0.9%)	7,100万人
行祭事・イベント入込客数(延べ人数)		935万4千人 (△5.2%)	986万5千人
観光消費額	全 体	2,932億83百万円 (+3.9%)	2,821億85百万円
	日帰り客	1,461億33百万円 (+6.1%)	1,377億37百万円
	宿泊客	1,471億50百万円 (+1.9%)	1,444億48百万円

※平成23年の調査より、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」を導入し、調査手法を変更している。

※千人未満を四捨五入しているため、対前年比に誤差が生じることや、内訳の計と合計が一致しないことがある。

○観光入込客数（延べ人数）は、7,162万8千人（対前年比+0.9%）、
行祭事・イベント入込客数（延べ人数）は、935万4千人（対前年比△5.2%）と、
いずれも減少した。

※なお、観光入込客数（実人数）は、4,799万5千人（対前年比+4.3%）と、前年に比べ増加した。

○観光消費額の総額は2,932億83百万円（対前年比+3.9%）で、うち日帰り客分は1,461億33百万円（対前年比+6.1%）、宿泊客分は1,471億50百万円（対前年比+1.9%）であった。

○主な傾向は、以下のとおり。

- ・台風19号等の影響により中止となったイベントが一部であったものの、前年に比べ年間を通じて天候に恵まれ、旅行しやすい環境にあったと考えられるため、全体として入込客数は増加した。
- ・さらに、改元によりGWが10連休であったこと、平成30年7月豪雨災害のような大規模災害や記録的な猛暑の影響を受けなかったことにより、前年と比較して全体的な入込客数は増加した。
- ・観光消費額は、一人当たりの平均消費額について日帰り客分が増加した（3,428円→3,494円）反面、宿泊客分は減少となった（24,723円→23,830円）。全体の観光消費額は、入込客数の増加に伴い、前年と比較して増加した。
- ・外国人延べ宿泊客数については、前年に引き続き、中国人観光客が大きく増加するなどして過去最高となった（148.4万人→166.0万人）。

2 観光地点別の集客数（県内トップ10）

（単位：万人）

順位	観光地点名	入込客数	参考：H30 [2018]	
			順位	入込客数
1	土岐プレミアム・アウトレット	668.3	1	678.2
2	河川環境楽園（アクア・トトぎふ含む）（各務原市）	528.9	2	509.4
3	高山市街地エリア	382.7	3	344.8
4	白川郷合掌造り集落（白川村）	203.1	4	188.8
5	湯の華アイランド（可児市）	168.5	6	162.2
6	千代保稲荷神社（海津市）	160.6	5	170.0
7	伊奈波神社（岐阜市）	147.5	7	147.4
8	世界イベント村ぎふ（岐阜メモリアルセンター）（岐阜市）	142.1	9	136.7
9	千本松原・国営木曾三川公園（海津市）	136.4	8	140.7
10	下呂温泉（旅館の宿泊利用及び日帰り利用）	122.5	10	122.5

○観光地点毎の入込客数は、1位から4位までの地点の順位に変動はなかった。

○令和元年は年間を通して天候に恵まれ、前年のような豪雨災害がなかったこと、夏季を除いて降水量が平年より少なかったことにより、屋外観光施設における入込客数が増加傾向にあった。

○前年に新規オープンした道の駅「パレットピアおおの」、清流長良川あゆパーク（郡上市）やリニューアルオープンしたぎふ清流里山公園が引き続き好評であったほか、改元の影響により道の駅「平成」の入込客数が大幅に増加した。

3 行祭事・イベント入込客数（県内トップ10）

（単位：万人）

順位	行祭事・イベント名	入込客数	参考：H30 [2018]	
			順位	入込客数
1	長良川花火大会（岐阜市）	70.0	1	65.0
2	高山祭	40.0	4	29.6
3	道三まつり（岐阜市）	38.0	6	29.0
4	大垣まつり	37.0	12	22.0
5	ぎふ信長まつり（岐阜市）	34.0	7	28.0
6	郡上おどり	30.8	5	29.1
7	各務原市桜まつり	29.0	15	20.5
8	元気ハツラツ市（大垣市）	28.5	2	44.5
9	日本ライン夏まつり納涼花火大会（各務原市）	24.0	13	21.0
10	チューリップ祭（海津市）	20.6	14	20.6

○行祭事・イベント毎の入込客数の県内トップは、前年と同じ「長良川花火大会」（岐阜市）で70.0万人、2位は「高山祭」（高山市）で40.0万人、3位が道三まつり（岐阜市）で38.0万人となった。

○台風等の影響により、刃物まつり（関市）や濃尾大花火（羽島市・一宮市）などの大規模イベントが中止となった。その一方で、改元のため10連休となったGW期間中に開催された行催事・イベントは大幅に入込客数を伸ばした。

4 参考

県内観光客の動向をより詳細に分析するため、観光入込客数を実人数に換算し、旅行者分類別、県内圏域別の入込客数、外国人宿泊客数等を算出した。

※詳細は、別添「参考表」参照

※千人未満を四捨五入しているため、対前年比に誤差が生じることや、内訳の計と合計が一致しないことがある。

<観光入込客数（実人数）>

区分	R1 [2019]年（対前年比）	参考：H30 [2018]年
全体	4,799万5千人（+4.3%）	4,602万8千人
日帰り客	4,182万0千人（+4.1%）	4,018万5千人
宿泊客 【うち外国人】	617万5千人（+5.7%） 【116万7千人（+14.5%）】	584万3千人 【101万9千人】

※宿泊客の「うち外国人」については、観光庁の宿泊旅行統計調査における本県の外国人延べ宿泊者数をもとに算出している。（令和元年外国人延べ宿泊者数 166.0万人）